

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104360	芸術文化推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	1	芸術文化活動の推進			
目的	芸術に親しむ機会を提供する。					
対象	市民					
意図	市民が身近な場所で気軽に芸術文化にふれ親しむことができるように、機会を提供する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○小学生のためのアートセミナー事業 ○はなまきまるごと芸術のまち事業						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		○ 共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
○ 事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	アートセミナー参加者数	人	計画	120	120	
			実績	108	94	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	この1年間に芸術文化活動に親しんでいる市民の割合	%	目標	25.0	27.0	
			実績	21.0	23.0	
②	この1年間に芸術鑑賞をした市民の割合	%	目標	72.0	73.0	
			実績	66.3	65.0	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供は、地域の芸術文化水準の向上や活性化が図られることから、市民アンケートによる市民の割合を採用した。 芸術文化活動を行った市民の割合は、毎年2～3%の伸びを目標と設定した。 芸術鑑賞をした市民の割合は、高村光太郎記念館や宮沢賢治記念館がリニューアルオープンされたことにより、市民の芸術文化に対する関心の高まりが予想されることから、毎年1%の伸びを見込んだ。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	子どもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	関係文化団体と連携を図り実施している。また、可能な限り最小限の経費で対応しており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	全市民を対象とした事業であるので公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
創造性豊かな芸術文化の振興を図るため、感受性豊かな時期の子どもたちに対する芸術文化に関する導入機会の提供や、市民が日常的に芸術に親しめるような環境づくりの整備を行い、すべての市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現できるよう努めた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	01	104360	芸術文化推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		651	1,040		389
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	651	1,040		389

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標  
芸術文化の振興に努める。

事業開始の背景・経緯  
芸術に親しみを持つ市民を増やす。

事業概要

- 小学生のためのアートセミナー事業
- はなまきまると芸術のまち事業

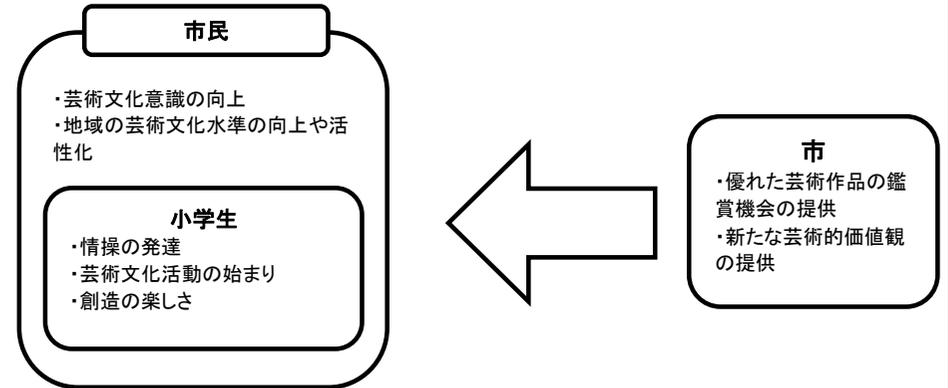
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

芸術文化に日常的に触れることができるような環境づくりや、優れた芸術作品を提供できるような情報を収集する。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



小学生アートセミナー事業 117 千円

小学生に芸術文化に触れる導入機会を提供する  
開催日：平成28年8月3日（水）、5日（金） 内容：陶芸、ちぎり絵  
指導者謝礼等89、教材費等23、通信費5

はなまきまると芸術のまち事業

市所蔵美術品を公共団体や企業に貸し出し、市民に美術品鑑賞の場を提供し芸術文化意識の向上をはかる。

共通経費 595 千円

時間外手当462、需用費133

展示用備品 328 千円

花巻書道協会から寄付採納により芸術振興のための展示用備品（パネル）を購入した。